

地質ニュース

昭和 57 年 7 月

第 335 号

1982

昭和 57 年度の地質調査所の研究 企画室... 6
—特別研究など—

花粉学の現状とその問題点 徳永重元...14
その 3—花粉学の研究手法の発展—

中国の鉱物資源② 石原舜三...18
—ポーフィリー型 Cu, Mo 鉱床—

地熱情報データベース・システムについて 岡野 尚之策
花矢津 井澤 敏功
浦仲 藤川 克
佐小 川 克郎...33

浦島子伝説と二酸化炭素 福田 理三...42
—領家帯の花崗岩類から産する炭酸ガス— 永阿 松喜久男

地質標本館だより 武居 由之...59
地球の内部構造—展示ホール—

三日町 MIKKAMACHI 河田 清雄...62

口 絵 地熱探査が進む北部タイのサンカンペン地熱地帯 河田 清雄
正 井 義 郎

編集 地質調査所

表紙の写真

タイ北部ファンの噴とう泉

古都チェンマイから真北へ約 180 km ビルマ国境に近いファン (Fang) はタイの有力な地熱開発候補地である。広い河川敷のあちこちから噴とう泉を含む多量の温泉が湧出し、総放熱量は 7 MWt に達している。徴候地は古生代の花崗岩と先カンブリア—古生代の堆積岩の境に位置し、熱源となる新期火山は認められないが、大規模な断層が南北に走っており、それにより深部の地熱が地表にもたらされていると考えられる。タイでは温泉を浴用その他に用いることはほとんどないが、熱水が噴き上る様は人々の興味を引くに十分であり、休日にはピクニックがてら訪ずれる人も多い。

地殻熱部 高島 勲

発行 株式会社 実業公報社